

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-529215(P2017-529215A)

【公表日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2017-535588(P2017-535588)

【国際特許分類】

A 4 7 F 5/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 F 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月4日(2018.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

電子ラベル表示器 1 0 2 の本体 1 0 6 の後面には突出された係止突起 1 4 が形成されることができる。また、これと同様に電子ラベル装着レール 1 0 4 には係止突起 1 4 が結合されることができる結合溝 2 4 が形成され、結合溝 2 4 は複数間隔を隔てて形成されることができる。それによって、電子ラベル装着レール 1 0 4 に形成された複数の結合溝の中で商品陳列位置に対応する係止溝に電子ラベル表示器 1 0 2 の係止突起 1 4 が結合されることによって、電子ラベル表示器 1 0 2 が商品陳列位置に固定装着されることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

前述したように、電子ラベル表示器 1 0 2 のガイド突起 1 0、1 2 と電子ラベル装着レール 1 0 4 のガイド溝 2 0、2 2 とが結合することによって電子ラベル表示器 1 0 2 が電子ラベル装着レール 1 0 4 に沿って移動調整されることができる。

また、電子ラベル装着レール 1 0 4 に形成された複数の結合溝 2 4 の中の商品陳列位置に対応する結合溝 2 4 に係止突起 1 4 が結合することによって、電子ラベル表示器 1 0 2 が商品陳列位置に固定装着されることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

また、図 2 を参照すれば、電子ラベル表示器 1 0 2 の本体 1 0 6 の後面には突出した係止突起 1 4 が形成されている。係止突起 1 4 は電子ラベル装着レール 1 0 4 に形成された結合溝 2 4 と結合されて、電子ラベル表示器 1 0 2 が電子ラベル装着レール 1 0 4 に装着されると、水平方向に移動しないように固定する機能を果たす。